

環境DNAで知ろう、考えよう。 みんなの身近な自然

🧬 調査の背景・目的

近年、生物多様性の喪失が様々な問題を引き起こしています。それらを食い止めるためには、まず身近な自然を知り、何が問題なのかを考えることが最初の一步と言えます。

本調査では、誰でも参加可能な環境DNA調査(詳細は裏面参照)を使って、参加者の皆様の身近な自然を知るきっかけづくりをしたいと考えています。

🧬 調査実施予定日

令和5年7月29日(土)前後数日間で予定がつく日
(調査日程については多少の変動は構いません)

🧬 調査方法

こちらからご提供する調査キットを使って、川の水をフィルターでろ過をしていただきます。ろ過フィルターは神奈川県環境科学センターにご送付ください。センターでは魚類を対象とした環境DNA分析を実施いたします。

オンラインでの説明会を開催し、調査方法の詳細についてご説明いたします。

🧬 調査結果について

年末をめどに調査結果を皆様にご提供するとともに、調査結果報告会の実施を予定しています。

🧬 応募方法

本調査にご興味のある方は、左のQRコードから申し込みいただければと思います。



■主催:東北大学

〔本事業は共創の場形成支援プログラム「ネイチャーポジティブ成長社会実現拠点」の取組として実施しています。〕

■共催:神奈川県(環境科学センター、自然環境保全課)

環境DNAって何？

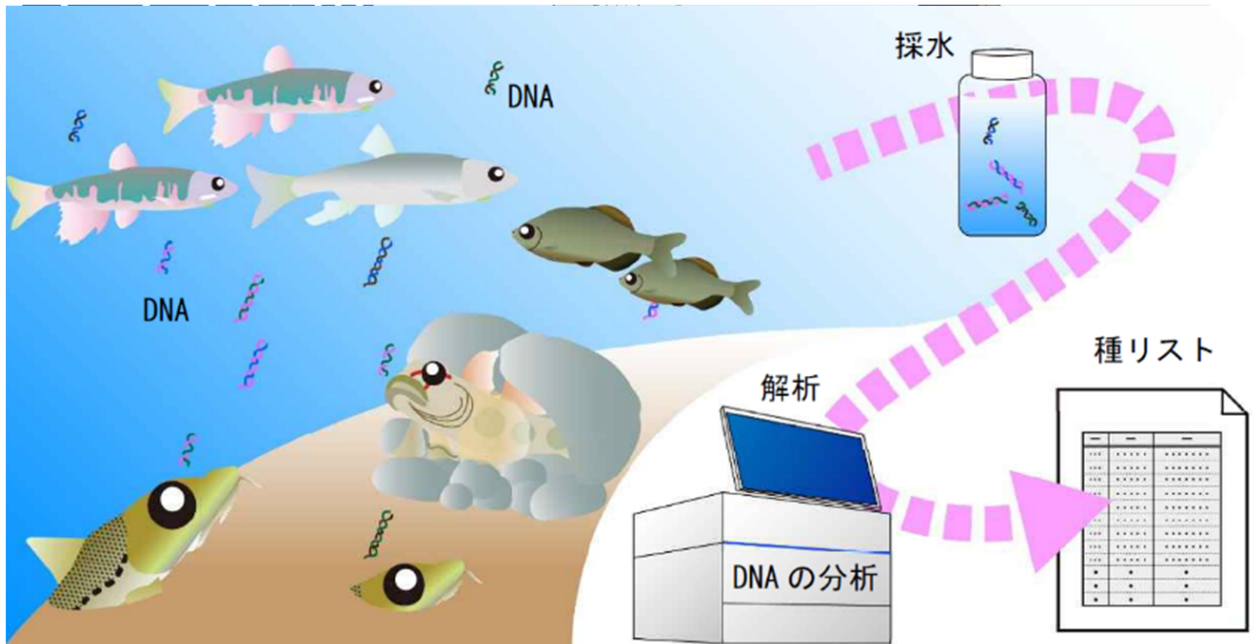
環境DNA
(eDNA)

動植物の排泄物，組織片などに由来する水中に存在するDNA断片

1リットルの水から，環境DNAを調べることで
環境DNAの有無から生物の存在を推定

環境DNAの量から生物量を推定

「環境DNA調査」といいます。



出典：「環境DNA分析技術を用いた淡水魚類調査手法の手引き(第2版)」(環境省生物多様性センター)
(https://www.biodic.go.jp/edna/reports/mifish_tebiki2.pdf)

※環境DNA調査は新たな生物調査手法として注目を集めています。

問合せ先

〒254-0014 平塚市四之宮1-3-39

神奈川県環境科学センター

調査研究部 水源環境担当 (長谷部)

電話番号：0463-24-3311 内線314

電子メール：hasebe.1cpk@pref.kanagawa.lg.jp →

